

重点施策 4 教育環境を整え社会全体で子どもを育てるまちづくり 4,397 万円

◎幼児教育・保育の充実を推進するため、幼児教育指導主事および幼児教育アドバイザーを雇用し、幼児教育センターを設置することで、質の高い幼児教育の提供、保幼小中の連携を図ります。
◎小学校の外国人語学指導助手（ALT）を増やすことで、外国人とのふれあいの機会や自然な英会話に接する機会を増やし、外国語教育の推進を図ります。



▲推進を図る外国語教育

重点施策 5 住みやすい住環境を備えるまちづくり 2,324 万円



▲ごみ分別説明会の様子

◎住民が日常的に使用する身近な道路の舗装工事をを行い、住みやすい生活環境を整備します。
◎生ごみ処理機の普及促進や事業者向けごみ削減講習会、各区へのごみの分別説明会を実施し、ごみの削減対策を推進するとともに、拠点回収をしていた乾電池・蛍光灯をごみステーションでの回収に切り替え、町民の利便性の向上を図ります。

重点施策 6 活力あふれ雇用を生み出す元気なまちづくり 2億 3,073 万円

◎観光プロデューサーの専門的知識を活かし、町内への誘客を促進するとともに、かなみブランドや新たなご当地グルメを周知し、観光客の町内店舗への誘導を促し地域活性化を図ります。
◎SNS や移住定住パンフレットを活用して町の魅力を発信するとともに、合同移住相談会への参加回数を増やして、移住定住を促進します。



▲新たなご当地グルメ「函南カルボナーラ」

令和元年度から繰り越して行う主な事業（繰越明許費）



▲令和元年東日本台風で被害を受けた町道

○道路災害復旧事業	2億 2,380 万円
○河川災害復旧事業	8,200 万円
○農地災害復旧事業	4,106 万円

※繰越明許費とは、年度内に事業が完了せず、議会の議決を得て翌年度に予算を繰り越して使用するものです。

「環境・健康・交流都市 函南」

の実現を目指して

～災害に強いまちづくり 子どもたちの未来を育てるまちづくり～

重点施策 1 いのちと財産を守るまちづくり 1億 4,955 万円



▲更新予定の防災倉庫

◎令和元年度に引き続き、令和元年東日本台風で被害を受けた道路などの復旧を行うとともに、被災者が少しでも早く元の生活に戻れるよう居住家屋の応急修理に必要な費用の一部を助成します。
◎函南小学校防災倉庫の更新、指定避難所受水槽改修工事、ハザードマップ作成など、災害対策・減災対策の強化を図ります。

重点施策 2 日常生活を安全に安心して暮らせるまちづくり 1億 7,617 万円

◎通勤・通学路などにおける歩行者の安全確保や車両が円滑に通行できるようにするため、主要道路の整備や狭あい道路（※）の拡幅、橋梁の耐震工事などを行い、安全対策を図ります。
◎台風や豪雨などにおける浸水被害を抑えるため、老朽化した蛇ヶ橋ポンプ場および落合排水機場の施設更新工事を行います。
※狭あい道路…幅員4m未満の道路



▲更新整備を行う排水ポンプ

重点施策 3 子育てや福祉の充実した共に支え合うまちづくり 2,397 万円



▲預かり保育が始まる二葉幼稚園

◎待機児童解消対策としてみのり幼稚園、自由ヶ丘幼稚園、春光幼稚園、丹那幼稚園に続き、新たに二葉幼稚園で預かり保育を開始し、更なる子育て支援の充実を図ります。
◎柏谷公園のトイレ内に幼児用ベッドやチェアを設置し、子育て世代の利便性の向上と利用者の拡大を図り、親子が安心して遊べる居場所づくりを推進します。